

統計アラカルト

熊本の統計情報 令和4年5月12日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

「景気動向指数」って知ってますか？

～ 「何、それ??? 知らんし・・・」という人のために ～



- ◆みなさんは、「**景気動向指数**」というものを聞かれたことがあるでしょうか？
- ◆どんな指数かと言うと、その名のとおり「**景気の動向を示す指数**」です。
- ◆この指数、実は、**新聞等にもたまに出てくる**、経済関係の業界ではまあまあ有名なものです。



【景気動向指数】

◆景気に敏感な、さまざまな経済部門（消費、生産、投資、労働等）から指標を選定して作成するもので、**景気局面の判断や予測等に活用**されるものです。

◆「**景気の量感（ボリューム）**」を示す**CI（しーあい）**と景気変動の「方向」を示す**DI（でいあい）**があります。

◆また、CIとDIそれぞれに、

先行指数（景気変動に**数か月先行**）（日銀県内短観、新設住宅着工戸数、新規求人数 等）

一致指数（景気変動と**ほぼ同時**）（有効求人倍率、鉱工業生産指数、百貨店・スーパー販売額 等）

遅行指数（景気変動に**数か月遅れる**）（消費者物価指数、法人事業税収入、常用雇用指数 等）

の3系列があります。



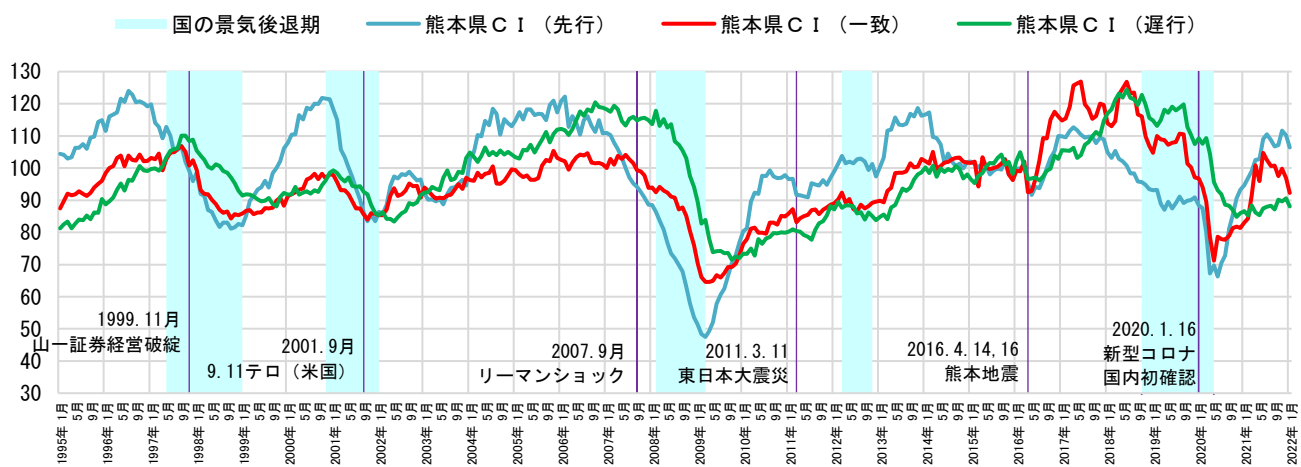
◆さて、用語の説明はこのくらいにして、実際のデータ（グラフ）を見てみましょう。

◆**図1**は、**熊本県の景気動向指数（CI；先行、一致、遅行指数）**をグラフ化したものです。

◆グラフを見ると、なんとなく**景気に波がある**のが分かりますよね。また、グラフの山谷部分をみると、なんとなく「**先行指数**」が一番左にあり、**その右に「一致指数」、そのまた右に「遅行指数」という順**になっている気がしませんか？（ちょっと強引かもしれませんが。）

◆なお、**CI**は景気の量感を表しますが、**リーマンショック後が一番深い谷（景気が悪い状態）**になっており、**今回の新型コロナウイルス感染症の影響がその次に深く（景気が悪く）**なっていることが分かります。

【図1】熊本県の景気動向指数(CI)



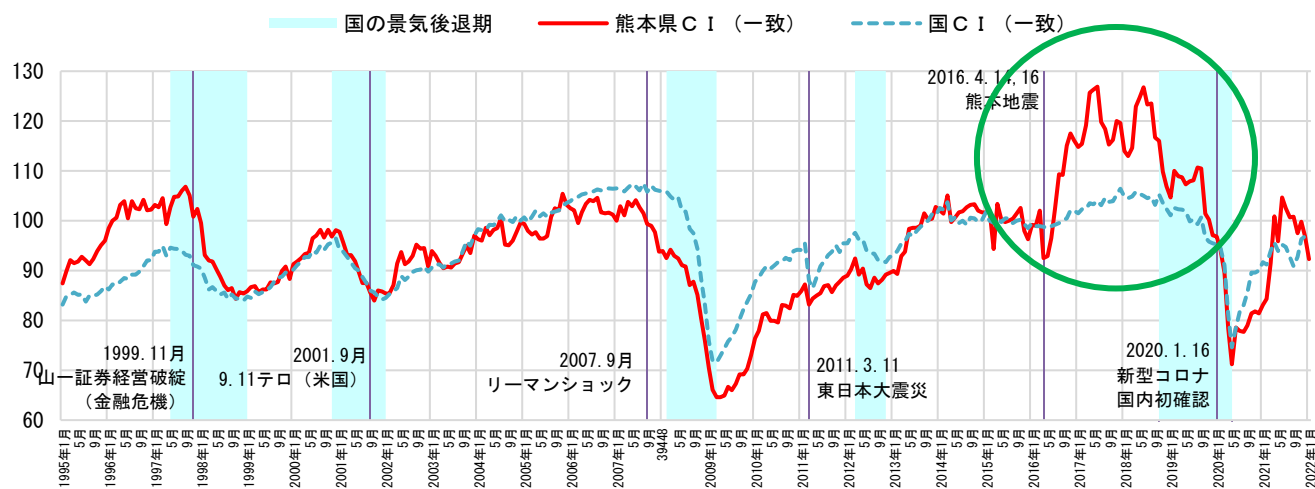
◆次に、国との比較を行ってみましょう。

◆**図2**は、**熊本県と国の景気動向指数（C I ; 一致指数）**をグラフ化したものです。

◆グラフを見ると、熊本県の景気は、国とおおむね似たような動きをしており、熊本県のグラフの山谷も、国のそれとほぼ重なっていることが分かります。

◆ただ、熊本県の景気は、**2016年以降の数年間**は、**国より上向きに大きく振れており**、この原因としては、**熊本地震からの復興需要の影響等**が考えられます。

【図2】熊本県と国の景気動向指数（C I ; 一致指数）



◆今回は、熊本県の景気を長期的にみることで、「景気動向指数」を簡単に紹介しました。

◆もっと興味のある方は、熊本県のWEBサイト (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/20/50350.html>) をご覧ください。(県のホームページのトップで、「ページ番号で探す」に「50350」を入れても、目的のサイトに飛びます。)

【補足】

◆今回は、「景気動向指数」を紹介しましたが、実は理由があります。それは、「景気動向指数」のサイトへのアクセス数が少なく、せっかく頑張って作ってもほとんど誰も見てくれず、私の同僚の担当者がシヨンボリしているからです！

◆この指数は出来上がりだけ見ると「ふ～ん。へー。」という感じの味気ないものですが、これを作るには、ものすごく労力がかかります。いろいろなデータを集めて、「季節調整」やら「共通循環変動」、「系列個別変動」などの、その道のマニアでもあまり聞かないような面倒な計算をしたうえに、「閾値」や「移動平均」等、さらにいくつもの計算を重ねてやっとできあがるものなのです。

◆ということで、ものすごく労力がかかっていますので、「景気動向指数」に興味のある方やちょっとでも担当者をカワイソウだと思われる方は、どうか気が向いたら「景気動向指数」のサイトにアクセスしてみてください！是非是非よろしくお祈いします！



よろしくお祈いします



問合せ先：熊本県企画振興部 交通政策・統計局 統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp